
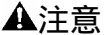


SMCLA101 通信アダプタ取扱説明書

このたびは、SMCLA101 通信アダプタをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本装置が十分に機能を発揮できますよう、正しいお取り扱いをお願いいたします。

警告表示について

この取扱説明書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないよう、以下の警告表示をしています。

- | | |
|---|---|
|  警告 | 正しくご使用にならない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示します |
|  注意 | 正しくご使用にならない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。 |

VCCI 適合基準について





この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ハイセイフティ用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。



警告マークについて

この取扱説明書では、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています。使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 
感電注意 | 感電する危険性について記述していることを示します。 |
| 
高温注意 | 高温による障害の危険性について記述していることを示します。 |
| 
一般的禁止 | 一般的な禁止事項を記述していることを示します。 |
| 
一般的注意 | 一般的な注意事項を記述していることを示します。 |

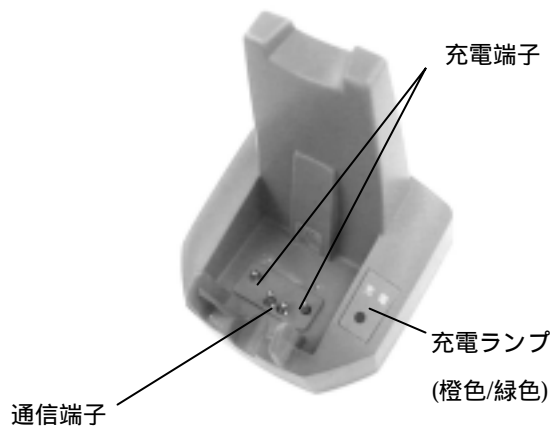
安全上の注意事項

警告

- | | |
|--|---|
| 
感電注意 | 通信アダプタをご使用の際には、電源コードを傷つけないでください。
感電や火災のおそれがあります。 |
| 
一般的禁止 | 通信アダプタは専用品以外を使わないでください。
専用品以外をお使いになると、電圧、電流容量などの差異によって本装置を損傷することがあります。 |

1 各部の名称

前面 (SMCLA101)



背面 (SMCLA101)



2 接続

本装置を親機に接続する場合には、以下の要領で行ってください。

2.1 親機との接続

- 1 DCプラグケーブルに取り付けられているクランプを本装置にネジ止めします。



- 2 DCプラグを本装置のDC 7.5V に接続します。

2.2 通信ケーブルの接続

- 1 本装置の通信アダプタケーブル接続コネクタに光アダプタケーブル (SMCCB511) を接続し、ネジ止めします。このケーブルは本装置に添付されておきませんので別途お求めください。



2.3 親機との接続

- 1 本装置の電源ケーブルをコンセントから抜き取り、親機の電源を切ります。
- 2 親機の通信コネクタに光アダプタケーブルを接続し、ネジ止めします。
- 3 正しく接続されたことを確認して本装置の電源ケーブルをコンセントに差し込み、親機の電源を入れます。

2.4 ハンディターミナルとの接続

- 1 本装置の通信端子とハンディターミナルの通信端子が汚れていないことを確認してください。
- 2 ハンディターミナルの操作面を手前にして、本装置へ下図の様に乗せることで、接続されます。



お願い

通信端子が汚れていますと通信できない場合があります。水でうすめた中性洗剤にひたした綿棒などを用いて汚れを拭きとってください。

▲注意

濡れているハンディターミナルを本装置に接続する場合には、ハンディターミナルの水分をガーゼ等で拭きとってから本装置に接続してください。

濡れたままハンディターミナルを本装置に接続しますと、誤動作を起こすか、または故障となる場合があります。

3 通信

- 1 本装置の電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
- 2 本装置に、通信状態にしたハンディターミナルを装着します。
通信中はハンディターミナルのLEDランプが点灯(緑色)します。
- 3 通信が正常に終了すると通信ランプが消灯します。

お願い

通信中に本装置の電源ケーブルをコンセントから抜き取りますと、データ抜けを起こすことがあります。

通信終了までは電源ケーブルをコンセントから抜き取らないでください。

▲注意

通信中に本装置からハンディターミナルを外すと、通信異常にならずに通信中の画面から抜けなくなる場合がありますが、これは故障ではありません。

本現象が発生した場合は、すみやかにハンディターミナルを本装置に接続し直すか、ハンディターミナルの電源の切/入を行ってください。

4 充電

4.1 ハンディターミナルの充電

- 1 本装置の電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
- 2 本装置にハンディターミナルを接続することにより充電が開始されます。
- 3 充電中には充電ランプが橙色に点灯します。
- 4 充電は約 5 時間で終了します。充電が終了するとランプは緑色に変わります。

お願い

充電を行う場合は、ハンディターミナルの電源を切ってください。
ハンディターミナルの電源が入っている状態では完全な充電が行われません。
通信終了後に充電を行う場合は、ハンディターミナルの自動電源オフ機能の設定を行ってください。
充電端子が汚れていますと充電できない場合があります。水でうすめた中性洗剤にひたした綿棒などを用いて汚れを拭きとってください。
充電は常温(10 ～ 30)で行うようにしてください。

5 仕様

項 目		仕 様
通信インターフェース	接続条件	接点方式
	同期方式	調歩同期
親機側インターフェース	接続条件	RS232C
	同期方式	調歩同期
充電機能	充電時間	約 5 時間
	充電中表示	橙色 LED 点灯 充電終了にて緑色 LED 点灯
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz +2/-4%
寸法・重量		84(W) × 83(D) × 108(H)mm , 約 230g(ACアダプタ除く)

設置仕様

入力電源		AC100V ± 10% 単相 50/60Hz +2/-4% 平行 2 線
温度条件	動作時	0 ～ 40
	保存時	-10 ～ 50
湿度条件	動作時	20 ～ 85% (結露してはならない)
	保存時	8 ～ 95% (結露してはならない)

電源設備

電源設備については特別なものは必要ありませんが、次の条件を必要とします。

定格電圧 : AC100V ± 10%

定格周波数 : 50/60Hz +2/-4%

以上の条件を満足する電源であるとともに、下記の点についても留意してください。

a, 他の装置(エアコン, 複写機等)の電源投入

- ・切断によるノイズや瞬間的な電圧変動を極力
少なくするように設置してください。

b, 定格電圧内に入らないものについては自動電圧

調整装置などを用意してください。

SMCLA101 通信アダプタ
取扱説明書

2002年 12月 1版発行

All Rights Reserved, Copyright© 富士通フロンテック株式会社 2002

- ・本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
- ・落丁、乱丁はお取り替えいたします。

KD91308 - 0221